

Vol. 21 2019. 3

茂吉記念館だより

斎藤茂吉記念館 開館50周年特別号



実行委員会代表挨拶(相馬健一代表理事)



祝賀会会場

斎藤茂吉記念館開館50周年祝賀会
平成30年9月1日/かみのやま温泉
日本の宿 古窯 ※詳細: 2頁参照



新設したエレベーター(連絡通路)



感謝状の贈呈
斎藤家(右)・上山市長(左)

館長講演

平成30年は、万葉以来の大歌人斎藤茂吉の業績が、多くの識者の熱意によって、生地上山に記念館として創設され五十周年の節目の年であった。それを記念し長年の懸案であったリニューアル工事も立派に完成し、時代の要請にあった文学館として、どなたにもお出でいただけ、利用していただければ、しかも内容の充実した公益財団法人斎藤茂吉記念館として新たな出発をすることが出来た。

これを実現できたのも、地元先進の長年にわたるご努力、公私にわたる大勢の方々の文化芸術愛、斎藤茂吉尊敬の思いが実を結んでいるわけで、後進の一人として、先ず深く頭を垂れて感謝を申し上げる次第である。

斎藤茂吉記念館 館長 秋葉四郎



みゆき公園内に設置したスロープ通路

開館50周年事業

斎藤茂吉記念館は、平成30年に開館50周年を迎え、4月27日にリニューアルオープンいたしました。

開館50周年を記念する事業として、諸事業を実施しました。

開館50周年祝賀会

開館50年の記念日の9月1日に、祝賀会（主催 斎藤茂吉記念館開館50周年祝賀会実行委員会（上山市・上山市教育委員会・当財団））を開催、105名の関係者よりご列席いただきました（会場・かみのやま温泉日本の宿 古窯）。

席上、上山市長より、長年の斎藤茂吉顕彰事業の協力と当館への所蔵品寄贈に対して、斎藤家に感謝状贈呈があり、その後館長による記念講演「世界に誇れる斎藤茂吉―三話」、祝宴が行われました。

50周年記念誌発行

昭和28年の斎藤茂吉死去より高まった顕彰と共に当館建設実現に至るまでの経緯と、昭和43年の開館以降今日までの当館50年のあゆみを主な内容とした『斎藤茂吉記念館開館50周年記念誌』を発行いたしました。

平成31年度より、関係個人・団体に寄贈した後、館内での販売や閲覧も予定しています。

記念品・物販品

50周年を記念した物販品として「茂吉短歌かるた」、オリジナル「記念切手（62円切手5枚・82円切手5枚）」、茂吉ゆかりのアラギ木活用の「短冊」・「栞」を作製いたしました（詳細は3頁参照）。これらは館内ミュージアムショップ、当館ホームページ上のオンラインショップにてお問い合わせいただけます。



オリジナル「記念切手」

「かるた」学校へ寄贈

上山市内小・中学校と、山形県立上山明新館高等学校の全クラスに対して、「茂吉短歌かるた」を寄贈いたしました（8月6日上山市小・中学校校長会上山市立中川小学校藤原由美校

長・上山市立南中学校金原克之校長／12月11日山形県立上山明新館高等学校阿部孝校長）。約1万8千首に及ぶ斎藤茂吉の短歌の中から、名歌・秀歌をはじめ、ふるさと山形・上山を題材にした歌など44首を取り上げ、解説入りのかるたを作製しました。



上山市小・中学校校長会に対するかるたの贈呈（館長より）市役所にて

市内児童・生徒の招待

上山市内小・中学校の児童・生徒及びその保護者を対象に、平成30年度の夏休み・冬休みの各期間内における無料入館の招待券付チラシ「はじめての親子で茂吉」を配布しました。また、山形県立上山明新館高

等学校の生徒を対象に、冬休みから3月末日まで無料入館を実施しました。

事業の周知・誘客

開館50周年事業の主な周知・リニューアルオープンに伴う誘客活動は次のとおり実施しました。

- ① 山形県内テレビ放送15秒間コマシヤル45本（平成30年4月16日～5月15日30日間）。
- ② 山形県内新聞広告掲載（平成30年4月27日付山形新聞1頁15段カラー刷）※同紙に特別展「斎藤茂吉の隠れた名品展」及び、書簡「斎藤茂吉（出井淳三宛）」の紹介記事掲載。
- ③ 斎藤茂吉の功績と、館内の新装内容及び記念式典等をダイジェストで紹介する特別番組「茂吉追憶」の放映（制作 山形放送 平成30年9月30日）。



「はじめての親子で茂吉」チラシ

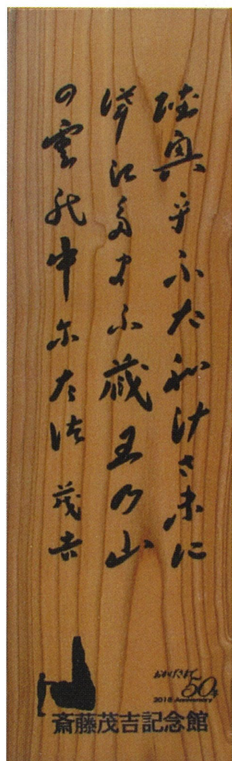
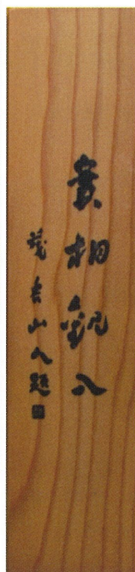
茂吉ゆかりの木「アララギ」

昭和12年、生家（山形県上山市金瓶）菩提寺の宝泉寺に、茂吉が生前準備を進めていた自身の墓の目印として、実弟高橋四郎兵衛に頼んで、アララギの木が植えられました。アララギの木は、茂吉が文学上のフィードとして活動した短歌誌の由来となるなど、茂吉にとってゆかりある木です。昭和20年冬、墓建立の予定地を訪ねた同門の土屋文明によると、その時茂吉は実に楽しそうにアララギの若木の梢をなでて喜んでいたそうです。茂吉が死去した昭和28年に墓が建てられてからも、アララギの木は大きく育っていました。平成28年に枯れたため伐採されました。その一部は当館内に

に常設展示されることになりましたが、開館50周年を記念し、短冊と葉に加工工作製いたしました。

短冊（縦20cm、横6cm）には茂吉の蔵王山頂（熊野岳）歌碑に刻まれている書「陸奥をふたわけざまに聳えたまふ蔵王の山の雲の中にたつ」、葉2種（縦14cm、横3.5cm）には愛用の印章「茂」と作歌姿勢を示す書「実相観入」がそれぞれ印字されています。

短冊は200枚限定1千円、葉は各100枚限定500円にて販売しております（価格は税込）。



アララギの木を加工した短冊と葉（2種）

アララギと斎藤茂吉墓（宝泉寺境内）

平成30年度事業報告

●講座事業（定例会歌会）

第13回Ⅱ平成30年7月29日・第14回Ⅱ同年11月11日（会場 斎藤茂吉記念館集会所）

●特別展事業

○「斎藤茂吉の隠れた名品展」

会期平成30年4月27日～8月19日（会場 斎藤茂吉記念館守谷夫妻記念室）
○「収蔵資料展」会期平成30年9月1日～平成31年3月31日（会場 同）

新収蔵資料

○斎藤茂吉「葵図」（額装）



光が描いたもの。高嶋は後年、「山塊（さんかい）」斎藤茂吉追悼号（第六巻第五号）中で「一見田舎の好々爺に見える茂吉の眼底に光る峻厳な輝きと云ふが紫石稜稜電射し人に私はハツと当惑した。然し雑談を交し乍ら動く茂吉の顔に猛然と取り組んで三枚ばかりスケッチをとつた」と述べており、このスケッチはその三枚のうちの一枚と思われる。

昭和21年、山形県大石田町で生活していた茂吉が描いたもの。同年7月1日の茂吉の日記には「花あふひ写生（失敗シタガ花一ツハドーナカヨイ）」とある。この作品は、次男宗吉（北杜夫）旧蔵品として遺族より寄贈された。

○高嶋祥光「斎藤茂吉スケッチ」

昭和22年（推定）10月26日大石田町に於いて、山形を拠点に活動した日本画家の高嶋祥



2019年度 斎藤茂吉記念館開館・イベントカレンダー

4月							5月							6月							7月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4				1	2	3	4							1			1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31				
														30														

8月							9月							10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5					1	2	
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
25	26	27	28	29	30	31	29	30						27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

12月							1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4							1	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	22	23	24	25	26	27	28
29	30	31					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	29	30	31				

特別展 斎藤茂吉と平福百穂展
4月27日(土)～8月31日(土)

企画展示 創作折紙展 茂吉が詠んだ鳥
7月16日(火)～9月30日(月)

特別展 茂吉の妻 斎藤輝子展
9月7日(土)～2020年3月31日(火)

第45回斎藤茂吉記念全国大会
5月19日(日)

定例歌会
第15回6月30日(日)
第16回11月10日(日)

折紙講座・ロビーコンサート
特別講座 講師: 梅内美華子「歌から見る斎藤茂吉」
8月3日(土)

第53回茂吉忌合同歌会
2月23日(日)

休館日

■利用案内

- 開館時間 9:00～17:00(入館受付16:45まで)
- 休館日 毎週水曜日(祝日・休日の場合は翌日)
7月第2週の7日間・12月28日～翌年1月3日
- 入館料 一般: 大人600円・学生300円・小人100円
団体: 大人500円・学生250円・小人 50円
※学生: 高・大学生 小人: 小・中学生
※団体10名様以上 ※障がい者割引(団体料金適用)
- 音声ガイド 日本語300円

■交通案内

- お車で越しの方(※無料駐車場: 普通車70台/大型車5台)
・東北中央自動車道山形上山I.C.から上市市(米沢)方面5分
- 電車でお越しの方
・JR奥羽本線「かみのやま温泉駅」よりタクシー10分
・JR奥羽本線「茂吉記念館前駅」下車徒歩3分

茂吉短歌ポスト募集要項の改訂
主な改訂事項は次の通りです。
「応募資格: どなたでも応募できます。」
※学校、他団体での一括応募は受付けておりません。
この事項については、従来通り歌歴・居住地による制限はありませんが、団体での一括応募はご遠慮願います。

新装した館内を案内する「記念館ガイド」、児童向けの「キッズページ」、オリジナルグッズ販売の「オンラインショップ」などを新設しました。茂吉の歌集・歌碑・研究書などの紹介ページは従来通り閲覧することが可能です。

斎藤茂吉記念館ホームページ